

出雲大社周辺エリアにおける観光客と地域住民の 移動環境向上のための低速モビリティ導入に係る社会実験の実施について

〈概要〉

道路施策推進のため、国土交通省において取り組まれている『道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）』により、狭隘な道路空間の有効活用を検討するため、出雲大社周辺エリアの神門通り及び狭隘な道路を中心として、観光客と地域住民の移動環境の向上を図ることを目的に、低速モビリティの導入実験を行うものである。

今年度の社会実験としては、実行可能性調査として、利用者のニーズを調査するとともに、観光道路と生活道路における導入の可能性と安全性を確認することを目的として実施するものです。

1. 実行可能性調査

今年度の実験は、社会実験を実施するための事前調査を行うものであり、以下の調査項目により実施します。

①観光客に対するニーズ調査

シニアカー試乗体験を行い、アンケート調査を実施し問題点等を抽出する。

グリーンスローモビリティ乗合交通のニーズ調査を実施する。

②地域住民に対するニーズ調査

グリーンスローモビリティ乗合交通の利用意向調査を実施する。

③関係機関・団体等ヒアリング調査

警察、関係者等立会いの下でシニアカーを試走させ、安全面、交通環境に与える影響を検証し、社会実験に向けた課題を抽出する。

2. 実施団体

実施団体は、関係者からなる協議会を組織することが必要です。

協議会については、『出雲大社周辺エリアにおける低速モビリティ導入社会実験協議会（仮称）』として、国土交通省、島根県、市、地元関係団体等により構成予定です。

事務局は、市の都市建設部道路建設課・総合政策部交通政策課・経済環境部観光課で行います。

3. 事業費及び財源

①事業費 実行可能性調査 100万円

②財 源 国土交通省から協議会へ直接負担金が交付（交付率は10／10）

4. 今後の予定

令和元年10月上旬頃

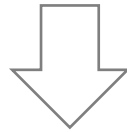
協議会開催

令和元年11月頃

シニアカー試乗体験及びアンケート調査を実施

令和2年2月頃

実行可能性調査とりまとめ



ニーズがあると判断すれば

令和2年度 現地実証実験

【実験車両参考例】

《シニアカー》



《グリーンスローモビリティ》



【走行実験予定図】

